

岩手県の複数法人間連携による地域公益活動に関する研究 — 一関市特養 A の実践事例の分析を通して —

社会福祉学科 コミュニティ福祉系 及川史佳

本研究は、岩手県の「IWATE・あんしんサポート事業」に参画している特別養護老人ホーム A の実践事例（終結事例、継続事例）を通して、個々の支援の展開過程や連携を検討しながら、複数法人間連携による地域公益活動の効果について明らかにすることを目的とした。事業の効果としては、経済的支援によって既存の制度やサービスに繋いだり、既存の制度やサービスで対応できない部分を補ったりすることができ、支援機関が支援を進めることができるという効果がある。また、制度や他機関に繋いだ後も、繋いだ先で本人や世帯が生活困窮状態から脱するための支援が進んでいたり、今後に備え支援機関で連携がとられ途切れず支援が続いていることから、生活困窮者が自立に至る為に制度や支援機関に繋ぐ役割を持つあんしんサポート事業の効果が果たされていることが示された。あんしんサポート事業は現物給付以外の方法でも既存の制度やサービスの隙間を埋め、新たな支援の手段を増やし、支援の幅を広げる可能性を持っていることも明らかになった。